

# インピーダンス

日本共産党通研支部  
http://impedance.sakura.ne.jp/  
jcp.impedance@gmail.com

No. 2561  
2021年11月8日  
定価 1部10円

## 総選挙の結果について

### 2021年11月1日 日本共産党中央委員会(要旨)

総選挙で、日本共産党を支持してくださった有権者のみなさん、奮闘くださった支持者、後援会員、党員のみなさんに、心からの感謝を申し上げます。



を許したのは残念ですが、最初のチャレンジとして大きな歴史的意義があったと確信しました。

日本共産党は、「野党共闘で政権交代を」と訴えてたばかりでした。自民・公明政権の継続

野党共闘は全国62の選挙区で激戦に競り勝

ち、一定の効果をあげました。また全国各地で心が通う共闘がとりまかれ、多くの新しい連帯の絆が広がったことも、今後に生きる大きな財産です。

同時に、野党共闘は、今後の課題も残しました。とくに、野党が力をあわせて、共通政策、政権協力の合意という

(2)

共闘によって生まれうる新しい政治の魅力をさまざまな攻撃を打ち破って広く国民に伝えざるを得ない。十分とは言えませんが、共闘の道を発展させるために引き続き力をつくします。

(3)



固く決意しています。

選挙戦でわが党は、コロナから国民の命と暮らしを守る政策的提案、自公政治からの「4つのチェンジ」―①新自由主義を終わらせ、命・暮らし最優先の政治、②気候危機を打開する、③ジェンダー平等、④憲法9条を生か

(4)

した平和外交―を訴えぬきました。どの訴えも、国民の利益にかなう、声が届いたところでは、共感を広げました。

この政策を、今後の国政選挙でも、国民運動でも大いに重視し、とりくみを発展させます。

来年夏には、参議院選挙が行われます。日本共産党は創立100周年を迎えます。

参議院選挙で、今度こそ市民と野党の共闘を成功させ、党創立100周年を、新しい政治変革のうねりなかで迎えられるよう全力をあげて奮闘する決意です。

## 米企業に国民の情報を委ねる危険が

### 政府クラウドに米IT2社採用



デジタル庁は10月26日、中央省庁や地方自治体が使う情報システムについて、共通の基盤を提供する「ガバメントクラウド」の先行

事業に、米企業2社のAWS(アマゾン・ウェブ・サービス)とGCP(グーグル・クラウド・プラットフォーム)を採用すると発表しま

した。日本政府は、すべての自治体に対し、国の情報システムの利用を義務付けています。また行政サービスのデジ

タル化の推進のため、国民健康保険や生活保護、介護保険など基幹17業務のシステムを、25年度までにデジタル庁が統括・管理するガバメントクラウドへ移行する計画です。

米国で2018年に成立した「クラウド法」によって、米国のIT企業は米国外のサーバーについても米国防府のデータ開示要求が

あれば従う義務を課されています。今回、米IT企業を採用することで、日本政府のガバメントクラウドの情報も米国防府からの開示対象になります。

日本政府の情報や国民の個人情報や米企業に委ねるべきではありません。

## 職場から

衆院選の結果。「共産党は2議席減、残念だ」「自民党は安定多数を得て勝ったという。そもそも15議席減だ」「甘

利幹事長や石原元幹事長など幹部が、野党統一候補に競り負けて落選した「武蔵野市は東京18区、立憲の菅直人氏が僅差で当選した。激戦で野党統一でなかったら危うかったのでは」「私の住む東京19

【ついでに】

